

子宮がんの話…「私には関係ない」？

子宮頸がんのホント 知ってる？

子宮頸がんは、すべての女性に起こりうる病気です

"子宮頸がん" ってどんな病気？

子宮の入り口にできるがんです。初期には殆ど自覚症状がなく、自覚症状が表れる頃には、病状が進行していることが少なくありません。死亡に至らない場合でも、子宮の摘出により、妊娠や出産ができなくなることもあります。

"子宮頸がん" の原因はなに？

大きな原因の1つは「ヒト・パピローマウイルス (HPV)」の感染です。HPV は性交渉によってヒトからヒトに感染します。性交渉を経験した女性の 80%は、一度は感染すると言われるほど、誰でも感染する可能性があります。

感染したら、すぐにがんなの？

HPV に感染しても、90%の人はウイルスが自然に体内から消えてしまうので、「HPV 感染=子宮頸がん」ではありません。でも、持続的に感染し、長い年月(平均 10 年以上)をかけて、子宮頸がんに行進する人もいます。

子宮頸がん検診はどんな検査？

1. 問診：問診票を記入します。
2. 視診：内診台にあがり、医師による診察をうけます。
3. 細胞診：軟らかいヘラやブラシのようなものを膣内に挿入し、子宮頸部の粘膜を採取します。痛みは殆どありません。

検診はどこで受けられるの？

相模原市に住民票のある 20 歳以上の女性を対象に、「集団検診(保健センター等で受ける)」と「施設検診(医療機関で受ける)」を実施しています(要申込)。費用は集団検診が 600 円、施設検診が 1,700 円です。また、生理中は検診ができないので、生理を避けた日にちにしましょう。

検診のときの服装は？

- 視診は下着を脱いで行うので、フレアスカートなど、ゆとりのあるスカートが良いでしょう。
- 着脱に時間のかかるブーツやボディスーツは避けましょう。
- 検診後に少し出血することがあるので、生理用ナプキンを持参しておくとう安心です。

検診のお申込み : 相模原市 コールセンター

☎042-770-7777

「まだ若いから、大丈夫。」・・・？

子宮頸がんは比較的若い女性にみられ、最近は特に20歳～30歳代に急増しています。

また、子宮頸がんは通常数年をかけて進行しますが、若い女性では進行が早いとの報告もあります。

20歳以上で性交経験のある女性は、1～2年に1回、子宮頸がん検診を受けましょう。



「家族に子宮頸がんの人はいないから大丈夫。」・・・？

子宮頸がんは、遺伝が大きな原因になる疾患ではありません。そのため、家族や親類に子宮頸がんの方がいるかどうかは、関係がないのです。

「自分は子宮頸がんになりにくいはずだ。」と思い込まず、子宮頸がんを自分のコトとしてとらえることは、早期発見の第一歩です。



「だから大丈夫。」・・・はホント？

「特定のパートナーとしか性交渉してないから大丈夫。」・・・？

複数のパートナーとの性交渉は、子宮頸がんの発生リスクを高めるとの報告もありますが、直接の原因ではありません。子宮頸がんの直接の原因は「HPV感染」なので、パートナーがひとりの場合でも、子宮頸がんになる可能性はあります。

あなたの子宮と健康は、あなた自身で守りましょう。



「いつもコンドームを使っているから大丈夫。」・・・？

確かにコンドームの正しい使用は、HPVの感染リスクを低くします。でも、完璧にHPVの感染を防げるわけではありません。

HPVは性器のまわりの皮膚や粘膜に生息していて、皮膚から皮膚に感染する場合もあるからです。

コンドームの使用は大切なことですが、「検診」という予防をもう1つ加えましょう。

